



画期的な導入法と劇的効果を実践レポート

アナログ周り音質向上の有効ツール フルテックNCF Boosterシリーズ 活用の楽しみ方を伝授

いま、アクセサリを使った環境整備が、オーディオの音にかつてない劇的効果を生んでいる。その要因は、目覚ましく進化したアイテム達の相次ぐ出現にある。なかでもフルテックのNCF Boosterシリーズは、優秀なツールを続々と登場させる旗手といえる。多彩な活用で手持ちの機器を高性能化できる、その最新ツールの魅力と導入レポートをお届けする。

Text by
角田郁雄

Ihno Yamada

製品 Photo by 田代法生



FURUTECH

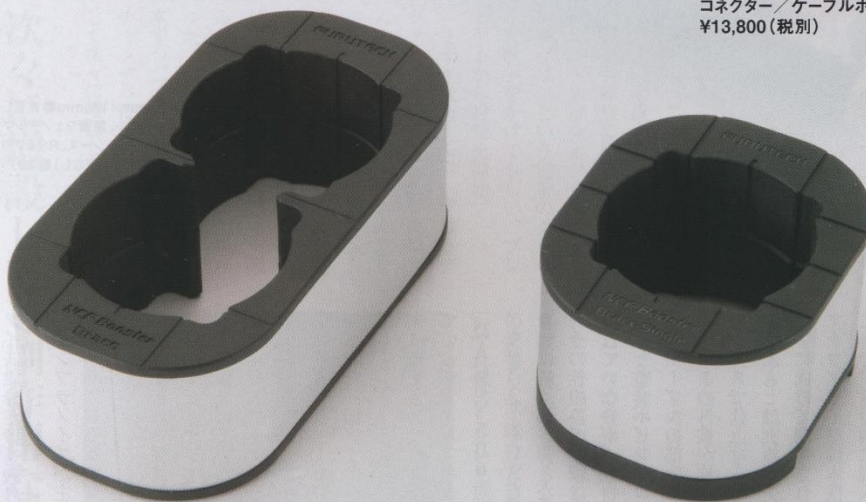
NCF Booster-Brace

コネクタ／ケーブルホルダー
¥19,800(税別)

FURUTECH

NCF Booster-
Brace-Single

コネクタ／ケーブルホルダー
¥13,800(税別)



Specifications

- 構造：マルチマテリアルハイブリッド●本体：NCF調合ナイロン樹脂(静電効果)●ハウジング：特殊アルミ合金プラストおよびアルマイト処理
- サイズ：約54.3W×38.5H×64.8Lmm (Brace-Single)、約54W×35H×106Lmm (Brace)●質量(ネット)：約67.5g (Brace-Single)、約100g (Brace)
- 付属：特殊粘着両面テープ(本体装着)とスベア(強力粘着、残留接着剤なし)

振動と静電気を激減させて
微弱な情報までリアルに描写

いまや、ケーブル・サポーターシステムの代表的存在となったフルテックのNCF Boosterシリーズは、日本のみならず、海外の愛好家やオーディオシヨウ、録音現場でも使用されているところである。とりわけ、電源ボックスに接続する電源ケーブルのブラグをガッチリと押さえ込み、振動と静電気を激減させるNCF Boosterは高い評価を受けている。実際に使っていると、再生音源に内包する微弱な情報まで浮き上げ、リアルな演奏のさまを描写させることに貢献した。その中心となるのは、NCF調合ナイロン樹脂である。静電気除去や振動低減効果も備え、ナイロン樹脂であるから加工し易く、同社では特殊な半密閉型空気室をもつ形状を考え出した。重い重量で振動を抑え込むのではなく、振動の共振モードを解析し、形状や柱および壁などの内部構造で振動を抑えているのである。

その後、ラインケーブルなどにも使えるNCF Booster Signalが登場し、活用度が高まった。私は、このモデルが大いに関心を持った。アナログプレーヤーからのフォノケーブルをしっかりとサポーターで、振動と静電気も低減するからである。カートリッジからの信号は実に微弱。ゆえに、トーンアームにできる限り

一度聴いたら外せない、想像以上の効果
 いろんな活用方法を考えられて実に楽しい



左から「NCF Booster」(¥32,800 / 税別)、「NCF Booster-Signal」(¥19,800 / 税別)、「NCF Booster-L」(¥14,800 / 税別)



機器のリアパネル、電源入力のコネクター部への「NCF Booster-Brace-Single」の使用例。シングルなので狭い空間にも使い易い



「NCF Booster-Brace」は電源ボックスや壁コンセントのプラグ周りにお薦め。2個重ねて効果を増強する方法も

もうひとつ試していることがある。スピーカケーブルを本品に通し、インシュレーターとして使う。ただし板材のフロアリング床

効果を実感している。

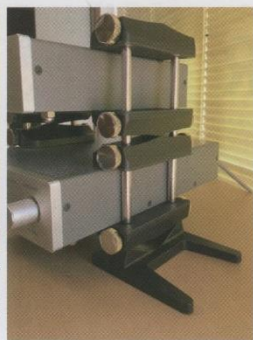
低減していること。しかもNCFは静電気を低減し、軽量化も実現している。私は、効果はそれだけではないと実感している。ハウジング(外周)を特殊アルミ合金でカバーしていることに着目した。なぜなら現在の電源コネクターの多くは樹脂製で、3芯シールド構造のケーブルと言えども、樹脂製コネクター部で電磁波の影響を受けてしまう。しかしBraceの2製品はハウジングが特殊合金製なので、電磁波を遮蔽してくれる。この効果は大きく、より一層の音の透明度、解像度、S/Nの向上を感じさせるのである。価格はリーズナブルだが、もし1個だけ使用するなら、フォノEQの電源コネクターに設置するのがベスト。機器の直前で、ノイズ、振動、静電気を低減できるからである。さらに効果を高めたいなら、電源ボックス側のコネクターにも設置すると良い。両端末に設置するので、より一層の効果を体験できるのである。現在、私はフォノEQのみならず、プリアンプ、DACなどでも両端2個使用を実践し、その

は不可で、厚手のカーペットの上である。このような使い方で、音の透明度やS/N感が向上した印象を受ける。

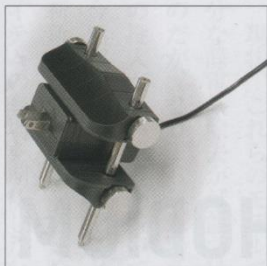
さらに余談だが、Boosterクレイドル(柵板)2枚を背中合わせにして両端にポールを取りつけ、フォノEQやプレーヤーに付属のACアダプターを挟み込む。これでスイッチングノイズや振動などが低減し、機種によって静寂感が出ることもある。またBooster-Signalを2基用意し、クレイドルをもう一枚背中小型フォノEQを挟み込む。これで、格好良いスマールラックに約変する。私は、NCF Boosterシリーズを使うことが楽しい。いろいろな活用方法を考え、音が向上変化できるからである。



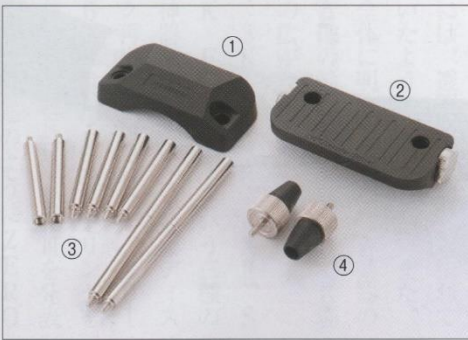
「NCF Booster-Signal-L」を2基とオプションを活用した応用例。スタイリッシュな小型フォノEQ+ヘッドアンプ用のスマールラックが完成



「NCF Booster-Brace-Single」をケーブルインシュレーターに使っても効果がある



「Cradle-Flat」を2個と「Extension Shaft Bar」でACアダプターを挟んだ使用例



【NCF Boosterシリーズ応用発展のためのオプション】

- ①「TopClamp」(¥13,800、税別)。NCF Booster上部パーツの単売品。質量は約295g
- ②「Cradle-Flat」(¥12,000、税別)。NCF Booster-Signalのケーブルホルダー部の単売品
- ③「Extension Shaft Bar」(¥3,000 / 10本セット、税別)。1本の高さ59.5mm。手でねじ込めば連結可能
- ④「Shaft Bar Adjuster」(¥3,800 / 2個、税別)。クレイドルの高さ微調整用の中継具

Braceは電源を大幅強化
 オプション応用の効果も魅力

近い位置から使うと効果的である。同社はさらにNCF Boosters teri-Signallerという、機器のインシュレーターにも使えるモデルを登場させた。これは、軽量のフォノEQ(特に管球方式)やステップアップトランスのインシュレーターとして効果を発揮する。なぜなら微弱信号が伝送されるので、振動と静電気が大敵とも言える。真空管方式フォノEQなら、真空管の微妙な揺れも抑えられることである。

プレーヤーとフォノEQでも、もうひとつ大切なのは電源周りである。

電源ボックスに使うNCF Boosterや、2式の電源プラグに使えるNCF Boosters teri-Braceが発売されて高い評価を受けているが、嬉しいことに今回、シングルな1式の電源プラグ用にNCF Boosters teri-Brace-Singleが発売された。もちろん電源ボックスや壁コンセント、機器にも使えるが、フォノEQなどの機器の電源入力部に、1式だけシングルに装着できることは実に魅力的である。私はこの新製品の登場を期待していたし、多くの愛好家も望んでいたはず。その構造の特徴は前述のように、重い重量で振動を低減するのではなく、半密閉型真空管、振動伝達NCF調合柱構造や振動抑制壁などで構成し、振動を

減らすのではなく、半密閉型真空管、振動伝達NCF調合柱構造や振動抑制壁などで構成し、振動を